

空間計画

- 読書環境の充実 … 約100万冊の蔵書を収蔵。閲覧席等の「座席」を約1,000席確保。
- 体験、交流、創造、発信等新しい機能の整備 … 1,000人程度が滞在・活動できる空間を確保。
- 市立図書館ネットワーク支援機能の確保 … 書庫、物流拠点等を整備。

エリア	整備する空間・諸室 (例)	想定規模
図書・閲覧等の基本的機能を提供するエリア	図書・閲覧関連スペース 例 開架図書(40万冊程度を想定)、閲覧席(約800席)等	6,000㎡程度
体験、交流、創造、発信等新しい機能を提供するエリア	多様な滞在スペース 例 オープンなラウンジ、静かな部屋等(約200席)	5,000㎡程度
	交流・共創スペース 例 多目的ホール、ギャラリー等	
	創造・体験・活動スペース 例 ものづくりができる空間、グループ活動ができる空間等	
	子ども・ティーンズ関連スペース 例 遊び空間、自由な活動ができる空間等	
新図書館利用者へのサービスを支えるエリア	共用・事務管理スペース 例 廊下・階段・トイレ・駐車場・駐輪場等	5,000㎡程度
市立図書館ネットワークを支えるエリア	市立図書館ネットワーク支援関連スペース 例 物流拠点、閉架書架(60万冊程度を想定)等	2,000㎡程度
事務管理関連エリア	共用・事務管理スペース 例 事務室、建物管理関連諸室等	2,000㎡程度
合計		20,000㎡程度

立地

利用者のアクセス性、物流拠点としての適性、全市的なまちづくり・市域バランスの視点から検討し、整備予定地を決定。

所在	港北区新横浜二丁目1番5
面積	2,796.29㎡
周辺環境	●新横浜駅から徒歩1分(JR・市営地下鉄・東急・相鉄) ●北口駅前広場に隣接
所有者	横浜市



横浜市新図書館整備基本構想<概要版>(令和8年3月)

横浜市教育委員会事務局 教育政策推進課
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話 045-671-3243 FAX 045-663-3118

横浜市新図書館整備基本構想は
横浜市ホームページで
ご覧いただけます▶▶▶



時代・ニーズの変化と、狭あい化等市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新図書館を整備します。

横浜市新図書館整備 基本構想

概要版



図書館ビジョンで示した「新たな図書館像」

「子どもから大人まで、みんなが主役になれる場」

- 新図書館は、①図書の閲覧・貸出し等基本的な機能の提供、
②メディアの多様化、創造・発信など、知的活動の活発化への対応、
③様々な人の交流や連携などの機会の提供を行い、

知を拡げ 人をつなぎ 新たな価値を生み出す まちの拠点を目指します

整備のプロセス

当面10年程度の間市の市立図書館全体の再整備等の基本的な考え方

- 地域図書館の老朽化対策
- 図書取次拠点の増設
- まちづくりと連携した再整備
- デジタル技術の積極導入
- 居心地向上を目指したリノベーション
- 新図書館の整備

これからの図書館の「目指す姿」や
「取組の方向性」を示す。



基本方針と目指す姿・機能

図書館ビジョンの新たな図書館像を念頭に、①図書の閲覧・貸出し等基本的な機能の提供、②メディアの多様化、創造・発信など、知的活動の活発化への対応、③様々な人の交流や連携などの機会の提供、の3つの方針のもと整備を行う。

基本方針

基本方針①

図書の閲覧・貸出し等
基本的な機能の提供

基本方針②

メディアの多様化、創造・発信など、知的活動の活発化への対応

基本方針③

様々な人の交流や連携などの機会の提供

目指す姿

1 あつめる・ささえる



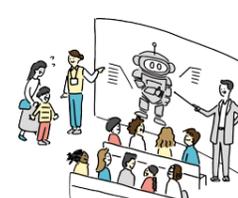
多様な情報を集め、
あらゆる人がアクセスできる

2 ひらく・みつける



新しい発見に誰もが出会える

3 まなぶ・ふかめる



生活を豊かにする深い学びを得られる

4 つどう・つながる



様々な人や団体がつながる

5 ためす・うみだす



横浜の未来をつくる活動が生まれる

機能



情報の充実とアクセス性向上



知的好奇心を育む



体験を通じた学び



知的交流の創出



新たな価値の創出

取り組み方針

情報の収集・提供

蔵書の拡充

アクセス性の向上

物流拠点の整備

思い思いに過ごせる場づくり

開かれた場づくり

新たな発見・気づきの機会の提供

多様なメディアの活用

リアルな体験の提供

知の探究の支援

多様な主体とのネットワークの構築

人と人の接点の創出

対話・協働の機会の創出

アイデアの具現化支援

地域・社会との接点の創出

発信・実装の機会の提供

知を拡げ 人をつなぎ 新たな価値を生み出す まちの拠点